

議会報告会を開催しました

9月定例会の議会報告会を開催しました。4会場で延べ124名のご参加をいただきました。

【第1部】9月議会の報告 【第2部】意見交換（加西市の医療の現状と充実に向けて）

開催年月日	場 所	参加者数
平成24年11月13日(火)	南部公民館	25名
平成24年11月14日(水)	コミセン小ホール	33名
平成24年11月15日(木)	北部公民館	44名
平成24年11月16日(金)	善防公民館	22名



コミセン小ホール（11月14日）

■いただいた意見と回答、要望（アンケート含む）

【9月議会の議案について】

- 農会長手当の支給について、議会で引き続き審議してほしい。
- 各農会長会で取り決めていただきたいと思います。
- 議会だよりに決算報告が出ているが、どこが良くてどこが悪いのかわからない。
- 今後、表現方法を検討したいと思います。
- 獣害対策について、市から国・県に働きかけてほしい。
- 議会として対応を検討したいと思います。
- 倒れそうな家屋に危険を感じる。神戸市で倒れそうな空き家に表札をつけるという条例をつくると聞いたが、加西市でも検討してはどうか。
- 空家の所有者に連絡が取れない場合や、処理を拒否されることもあると聞いています。加西市でも検討してほしいと要望しています。
- オークタウンを直営にすることによって、利用者が増えてサービスも良くなるのか。市民のためになるかどうかの議論をしてもらいたい。

【議員報酬について】

- 公聴会などを開き、市民の意見を聞こうという意見はなかったのか。
- 報酬審議会にかけるべきという意見はありましたが、最終的に議員としての報酬の妥当性を考えて結論が出されました。
- 生活費は自分で稼ぐべきで、一定の生活保障は必要ない。
- 議員は専門領域を磨き、議員立法などに挑戦してほしい。
- 議員になる門戸を開いておくために、議員定数と報酬はこれ以上下げないでほしい。

【加西市の医療の現状と充実について】

- 巡回バスなどで各集落を回って北条へ行く方法を考えてほしい。

※詳細な内容については、議会ホームページでご覧いただけます。

- 北条鉄道とバスの接続をスムーズにして利便性を上げていますが、今後も要望していきたい。
- 加西病院でポリプの手術を受けたが、他の病院でもカルテを見ることができると聞いた。いいシステムだと思う。
- 北播磨の公立病院は連携が取れており、無駄な検査や投薬を省く方向にあります。
- 加西病院も予約制にして、待ち時間を短くしてほしい。
- 現在も予約制をとっていますが、急性期病院という性格からどうしても診療時間に遅れが発生します。
- 市民病院が県下でも誇れるところは何か。
- マタニティセンター、整形外科等です。
- 救急で、他の病院ですぐに治療できたのに、加西病院では受け入れを断られた。
- 加西病院に確認します。
- 加西病院を存続させるか議論が必要ではないか。
- 加西病院の存続を問われる時期が必ず来ます。ますます厳しくなる中で、市民と一体になって、医療施設を守っていかなければならないという思いです。
- 父親が救急で多可町の病院に搬送されたが、落ち着いたら近くの病院で治療できるようにしてほしい。
- 北播の各病院はそれぞれ得意分野を持っており、発病当初は得意な病院で治療してもらい、落ち着いたら近くの病院で治療を受けられる連携システムの早期構築を議会として後押ししていきたい。
- 「この病院は市民にかかっている」と院長は言われているが、「あの病院は良い」と言われるように院長に頑張ってもらいたい。
- 5万人都市再生は、加西病院の存続なくしてはありえない。市の全面的なバックアップを議会から求めてほしい。
- 診療ミスを見張る方法を考えてほしい。
- 病院をできるだけ利用しなくていいように、健康でいるための情報をもっと発信してほしい。

加西市議会への視察が増えています

平成24年度の加西市への他自治体からの視察は、今後予定されているものを含めて合計34件となり、過去最高の件数です。そのほとんどが議会改革の取り組みに関するもので、前年度と合わせて49件（23年度18件、24年度31件）の視察を受け入れしています。

また、毎年実施されている早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査でも、今年度は全国で12位となっており、加西市議会の議会改革の取り組みは全国的にも注目されています。

以下の取り組み内容について、他の議会から興味を持たれ、視察に来られています。

- ### （1）議会運営の活性化
- ①一問一答制の導入
これまでの一括質問・一括答弁（質問は3回まで）の方式から一問一答方式（質問の回数制限なし）に改め、緊張感を持って活発に議論を行い、議論の内容が分かりやすくなるようにしています。
 - ②反問権の導入
質問の趣旨・内容・論点を明確にするため、執行者から反問ができるようにしています。
 - ③議員間討議等の導入
論点を明確にするため、議案採決の前に議員間で討議ができるようにしています。
 - ④議決事項の追加
総合計画等、法的には議会の議決事項ではないものの、市の重要な計画を議決事項として審議を行い、市民の意見を反映できるようにしています。
 - ⑤政策形成過程の説明
論点を明確にし、政策水準の向上を図るため、市長が議案として提案する政策について、必要な理由、他の自治体との比較、総合計画における位置付け、コスト、効果等の説明を求めています。

- ### （2）情報公開
- ①傍聴者への資料公開
本会議・委員会の議案書や資料を閲覧・コピーできるようにしています。
 - ②政務調査費執行状況の公開
市役所1階の総合案内で、政務調査費の収支報告書・調査研究実施報告書を公開しています。
 - ③本会議・委員会のインターネット中継
本会議・委員会の審議状況を映像で配信しています。（ライブ中継、録画中継）
 - ④議長・副議長選出時の透明性確保
議長・副議長選出時には、立候補意思表示や推薦ができる機会を設けています。

- ### （3）市民参加
- ①議会報告会
直近の定例会の報告と、テーマについての意見交換を行っています。（年2回以上、中学校区単位）
 - ②請願者・陳情者の発言機会の保障
委員会で審議する請願・陳情については、提出者に意見を述べる機会を保障しています。

平成24年度 視察受入状況（予定を含む）

視 察 内 容	視察件数（人数）
議会改革について (議会基本条例、議会報告会、議会インターネット中継、議会広報 等)	・兵庫県 6件 (63名)
	・北海道 1件 (12名)
	・東北 1件 (8名)
	・関東 3件 (30名)
	・中部 10件 (108名)
	・近畿 (兵庫県除く) 3件 (55名)
	・中国 2件 (13名)
	・四国 1件 (35名)
	・九州 4件 (39名)
	合計 31件 (363名)
学校づくり応援事業について (富田小学校ヨガ授業)	・九州 1件 (3名)
「人・農地プラン」の推進状況、農業の担い手育成、就農者支援の状況について	・中国 1件 (8名)
第三セクター鉄道の取り組みについて	・中部 1件 (10名)